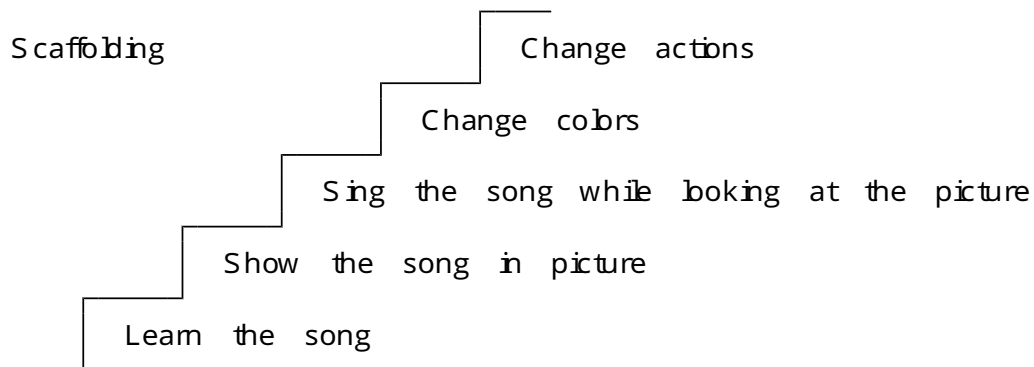


2007 道研ESLセミナー受講メモ

1 Pattern

(全て color sheet & Picture で提示)

Red yellow black & white Stand up
Red yellow black & white Sit down
Red yellow black & white Stand up Sit down Turn around



2 小学校の先生方であることを強く意識?

(1)

理解できないときには?

Sorry, I don't understand

聞き取れないときには?

Please, repeat

Once again, please

I beg your pardon

More slowly, please

助けが必要なときには?

Could you help me, please?

Please help

(2) なぜ英語を学ぶのか? ... 英語そのものを身に付ける (Skill)要素重視?

- World communication
- Future's job
- Good preparation for Junior high
- To not be afraid of foreigners
- To open children's mind
- International understanding
- To increase knowledge of Japan
- To have fun good memories

3 Multi Intelligences

アクティビティー等を構成するときの要素

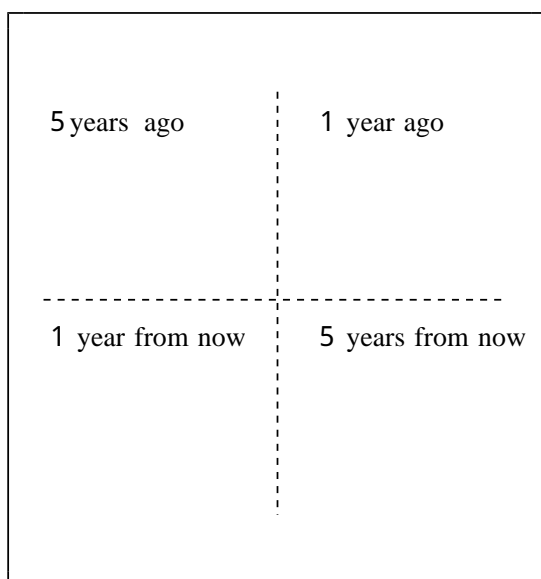
- Linguistic : The use of listening, reading, writing and speaking in order to communicate information
- Visual- Spatial : The use of images and other visual signifiers to communicate information
- Logical- Mathematical : The use of equation, sequences or patterns to communicate information
- Bodily- Kinesthetic : Learning through movement or by doing
- Musical : Learning by creating or listening to music and rhythm
- Intrapersonal : Learning through individual tasks, introspection and reflection
- Interpersonal : Learning through interaction with others
- Auditory : Learning through hearing

一つ一つの要素を理解することは、INPUTやINTAKEの段階を構成する際に大切である。初期の講座では、「8 Intelligences」という表現で表されていたものである。

の「Auditory」は、初期の段階では「Naturalistic」という表現になっていた。Dr. Bilashに確認したところ、「Naturalistic is also an intelligence」という回答。Auditoryの方が要素として上位にあるということか……。

4 Self- introduction & Bingo

定番！



一見単純な自己紹介シートはあるが、そこには様々な要素が含まれている。

時制 (過去形・未来形)
複数
語順

こういったところに気を配りながらプレゼンをしていく難しさがある。

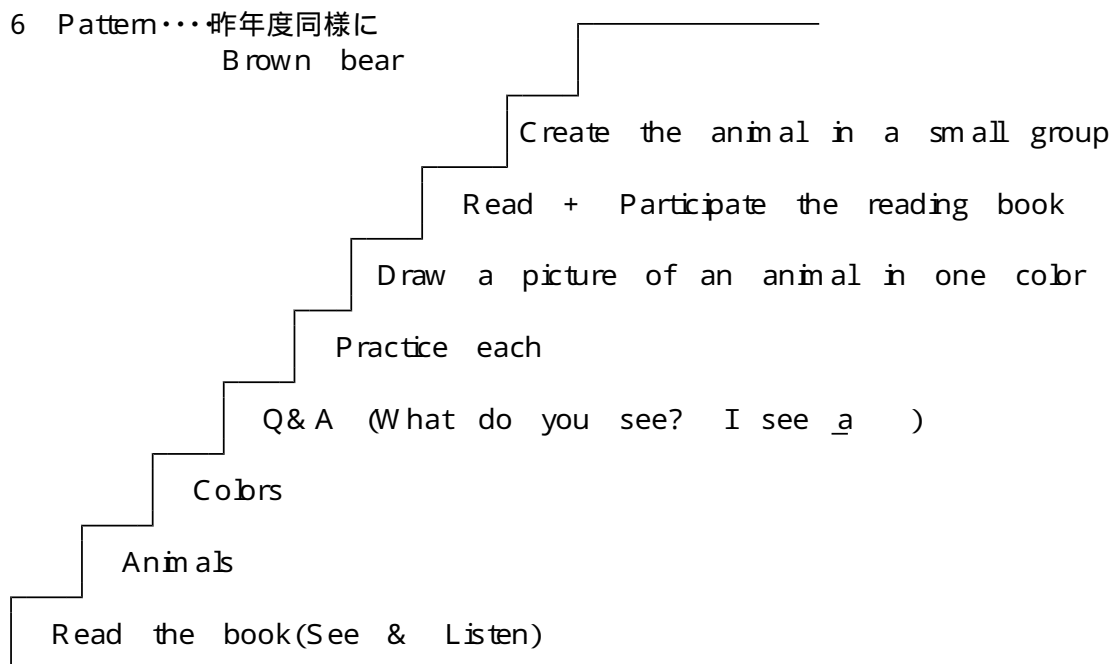
内容にばかり気をとられると語順や時制が曖昧になる。

5 Home- reading Program & Retell

これは、2002年受講時から脈々と続く内容である。

簡単な物語を読み、フォーマットのRetell sheetに書き込み準備を進めるというものである。回数を進めると共に、練習時間を短くしたり、フォーマットを見ないでRetellするというものである。

これは、指導方法と言うよりも、英語にかかわる教師として英語力をブラッシュアップするためのものであると考えている。



7 Review Question 登場

- ・・・ どのように理解をしているかをこの時間を使って検証・・・チェックの役割
前日の内容を振り返ることができるので、参加者にとってもよい機会である

What are 5 purposes for teaching english in the elementary school?
 How did Dr.Bilash use "picture cues" to help you learn the chant and song yesterday?
 Did it help you? How?
 Explain how to play biographical bingo
 What is scaffolding? give an example.
 Why is it important to have a Vison in teaching?
 How can students show their creativity in English class? Why is this important?
 Name 3 words that you learned yesterday

(Day 2)

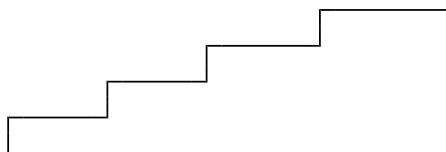
What is pattern or predictible story? How can it be used for teaching English in the ELS?
 How did Dr.Bilash use 'Picture Cues' to help you learn the self introduction yeaterday?
 Did it help you? How? (Answer・・・Remember/Memorize/Safety mind/Order)
 Explain how to play an activity learned yesterday in class or in the gym?
 (昨日の講義でも行ったが、それ以外のものを要求される)
 ・・・Key Word・・・Simple and
 What does planning backward mean ?
 (To image/ think a goal of the English for the teacher)
 (Not to have a goal, Teachers can't make scaffolding)
 Pick three predictable stories that you read yeaterday-One for grade 4 students
 One for the grade 5 and One for the grade 6 Why did you choose them?
 Name 3 words that you learned yesterday

(Day 3)

8 Planning backward

今回の講座での最重要キーワードは「Vision」

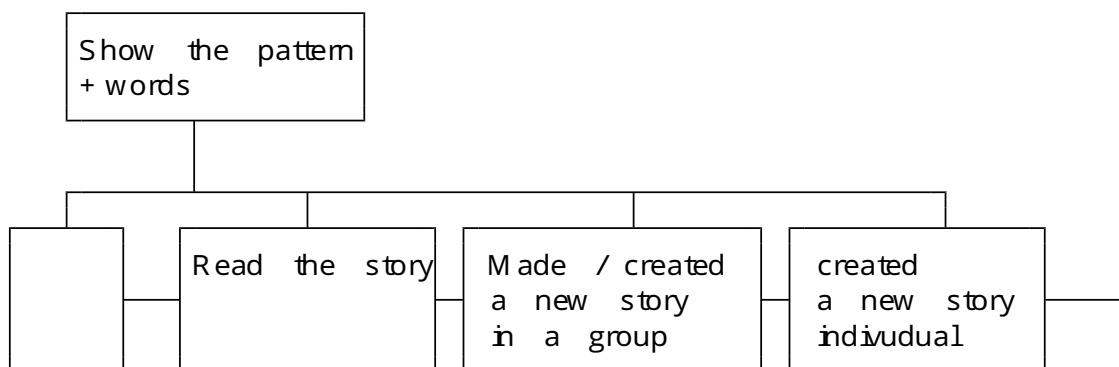
- … 簡潔に言うと「GOAL」をしっかりと見すえるということである
そのゴールにたどり着くために必要な考え方が「Scaffolding」であり



このStepの一つ一つが「Small Step」になっていることが重要なのである

小学校英語の根本的な考えがここにあると言っても過言ではない!!!

9 Sequencing (連続する) stories



10 Self- introduction using picture cue

- … 昨年度と同様の内容
ただし今年度は、そこに至るまでにどのような言語材料をどのように配置していくのかという「Planning backward」を意識した進め方であった

Warm - upの段階でAnimals/ Cobras等を「Roll the die」で導入しておいてから Self- introduction に繋げていくあたりは見事？

挨拶 名前 出身地 好きな色 好きな食べ物 好きなスポーツ すきな動物 挨拶

11 Warm - upは「Roll the die」と「Charades」

Roll the die … 「Topic」の導入に有効
語彙を増やしていくという面においては楽しく進めることができる

Charades … 昨年も行っていたものであるが、Body workという面でも子どもたちの In agenerationを育むという点からも有効
文型を知らず知らずのうちに意識させる点もよい

2日目は「Roll the die」「Charades」の他に、「Pass the ball」
… ボールを投げた相手に「Question」、受けた人は「Answerと次の人へのQuestion」

12 Reflection Sheet

A4	Today I really liked	Today I really did not like
	So far in this program I have learned	Please clarify/ explain/ help me with

上記の4つの観点でこの文に続けて書いていく

上段については、必ずしもLectureの内容だけにとどまらず、生活面や食事など何を書いても良いことにはなっているが、やはり内容面で書くことが多いと思われる。

Dr. Bilashは、今回全てのシートにコメントを書いていた。驚きである！！

13 B - SLMを実際の流れでやってみるとどうなるのか……

Bilash博士のデモンストレーション授業を受けて、Inputから幾つかのアクティビティに至るプロセスを演習した。

- Go to…… Point to……についても今回は「Same order」で行い、INPUT的な取り扱いであった……今回「Giving it」(INPUT段階を表す表現)という表現が出てきた。今後この部分がどう変わっていくのかが楽しみである。
- さらに、INPUTも単に繰り返しているだけでは意味がないという指摘があった。様々なバリエーションのもとで(動作やチャンツ等を交えて…)INPUTを進めることがだいじであるということである。
- INPUTをしすぎているのではないか？という思いに駆られた。INPUTが充実しなければINTAKEが成立しないということで、かなりの時間を割いてきたがそこまでかける必要はないとのニュアンス。これも今後に向けて楽しみである。

これまでにないアクティビティは

「Guessing game」

「Head game」

いずれも What's missing? や松香フォニックスのアクティビティですでに紹介済みのものであることから、さほどの新鮮さは感じなかった。

今回の言語材料は「Weather」

ただし単語ではなく、「It is ○○○」